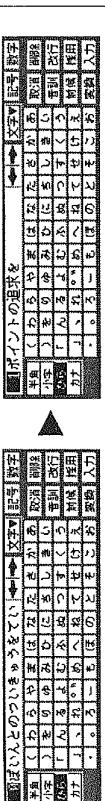


**B** 連続した2文節を変換する  
**C/A** たくさん読みを入力して2文節ごとに変換しましょう。

## 連続した2文節を変換する

「ぼいんとのついきゅうをていあん」を入力し、連続した2文節を指定して「ポイントの追求を提案」に変換しましょう。



**0** の表示は  
変換できる漢字がありませ  
ん。**取消**にタッチして読  
みに戻し、読みを修正する  
が、文節を区切つて漢字に  
変換します。



連続した2文節を変換  
する読みの範囲は  
変換にタッチすると、  
カーネルの前までの読みを  
2文節の漢字混じりの文字  
に変換します。

連続した2文節を変換  
する読みの範囲は  
変換にタッチすると、  
カーネルの前までの読みを  
2文節の漢字混じりの文字  
に変換します。

入力

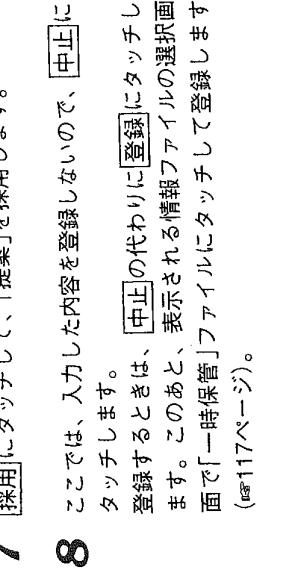
連文節変換

連続した2文節を変換する

**6** **変換**にタッチして、「ていあん」を「提案」に変換します。



**7** **採用**にタッチして、「提案」を採用します。



これ以降、**採用**にタッチして入力項目に文字を入れることを、「採用する」と表記します。

**8** ここでは、入力した内容を登録しないので、**中止**にタッチします。

**登録**するときは、**中止**の代わりに**登録**にタッチします。このあと、表示される情報ファイルの選択画面で「一時保管」ファイルにタッチして登録します(図117ページ)。

これで、50音ボードを使った入力を終わります。

**1** 「ぼいんとのついきゅうをていあん」と入力し、  
**変換**にタッチして変換してみます。

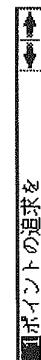


文節が多すぎて変換できないため、**取消**にタッチして、いったん読みに戻します。

**3** 「ぼいんとのついきゅうを」を「ポイントの追求を」に  
変換するために、「て」にタッチしてカーソルを「て」  
の前に移します。

ぼいんとのついきゅうをていあん

**4** **変換**に数回タッチして、「ポイントの追求を」に変換  
します。



**5** **採用**にタッチして、「ポイントの追求を」を採用しま  
す。





### コラム

採用されたひらがなを漢字にするには

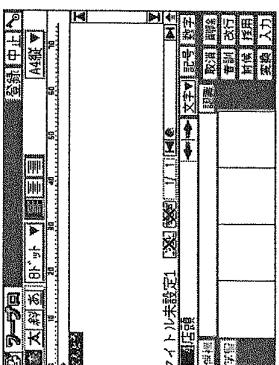
にします。

**1** 入力行に文字がまったく表示されないことを確認します（入力行に文字があるときは、採用または削除します）。

**2** 漢字に変換するひらがなをなぞって反転させます。

□「ベシでなぞる」とは  
反転させるはじめの文字  
にタッチし、タッチした  
まま最後の文字までス  
ライドさせ反転にする  
ことです。  
□「ひらがなをなぞって  
反転させたあと、いすれかの文字に  
タッチすれば、反転が  
解除されます。

**3** [変換] にタッチして、漢字に変換します。

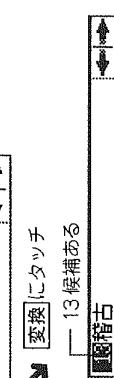


**4** このあと、目的の漢字を選び、採用します。

### コラム

□ [機能] にタッチすると  
画面の左上に [機能] と  
表示されます。

□ [機能] に続けて [変換] にタッチすると、  
読みみを入力して [機能] にタッチすると、  
人名や地名のみの候補が表示されます。

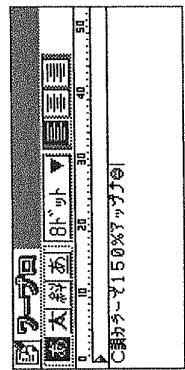


## B 英数字・記号・絵記号を入力する。

英数字・記号・絵記号を入力しましょう。

ワープロの新しいページを開き、タイプライターボード・数字入力ボード・記号入力ボードを使って、「C調カラーで150%アップ」[記号]に入力しましょう。

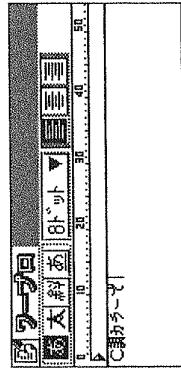
ここでは、次の手順で操作します。



- ▶ ワープロの新しいページを開く
- ▶ タイプライターボードで英字を入力する
- ▶ 数字入力ボードで数字を入力する
- ▶ 記号入力ボードで記号・絵記号を入力する

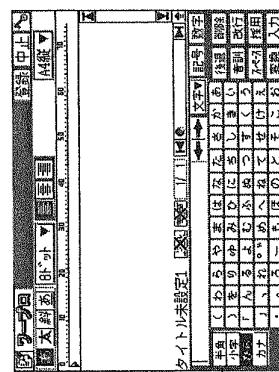
### 英字を入力する

**1** タイプライターボードを使って、「C調カラーで」を入力します。



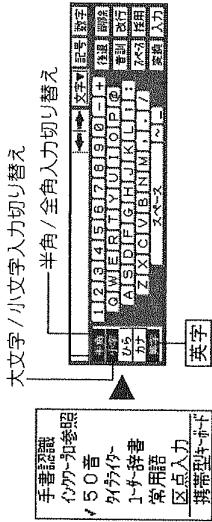
英字は手書き認識ボードでも入力できます。50音ボードを使っていているときは、タイプライターボードに切り替えると、英字を入力できます。

**1** 48ページと同じようにして、ワープロの新規入力画面を表示します。



直前の作業で  
使っていた  
入力ボードが  
表示される

**2** 文字▼にタッチし、**タイプライター**にタッチして、**タイプライター**ボードに切り替えます。



□ **ひら** や **カナ** が反転表示しているときは、**英字**に切り替えてカタカナを入力できます。

**3** **英字**が選ばれて、反転表示していることを確認します。選ばれていないときは、**英字**にタッチして**英字**にし、英字を入力できるようにします。

**4** **C**にタッチします。

□ **英字**の入力は直接入力項目に入力されますが(ただし、入力行にひらがななどの文字が入力されていると直接入力できません)。半角の「C」が入力されたときは、**半角**が選ばれて反転表示しています。

**半角**にタッチして**半角**にすると、全角文字をひらで入力できます。

**5** 小字にタッチして**小字**にし、大文字を入力するときは**小字**にタッチして**小字**に戻します。

**6** 音訓に数回タッチして「調」を表示し、「調」にタッチして採用します。

**7** **K A R A - D E**にタッチし、「からーで」を入力します。

**8** **変換**にタッチして「カラーで」を表示し、**採用**にタッチして採用します。

□ カタカナの入力は、**カナ**にタッチして**カナ**にして採用します。  
カナにしてカタカナを入力できます。直接入力項目に入力されます(ただし、入力行に文字が入力されると直接入力されません)。

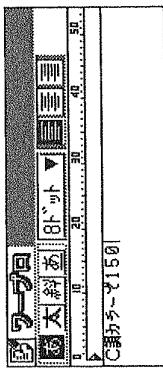
□ カタカナの入力は、**カナ**にタッチして**カナ**にして採用します。  
カナにしてカタカナを入力できます。直接入力項目に入力されますが、ここでは数字入力ボードを入力できました。

## 数字を入力する

### 数字入力ボード

入力

数字入力ボードは、タイプライターがボードや手書き認識ボードでも入力できますが、ここでは数字入力ボードで入力します。



**1** 入力ボード上の**数字**にタッチして、数字入力ボードに切り替えます。

**2** **1 5 0**にタッチして、「150」を入力します。

□ 数字の入力は直接入力項目に入力されます。半角の「150」が入力されたときは、**半角**になっています。

**半角**にタッチして**半角**にすると、全角文字を入力できます。

**3** **音訓**に数回タッチして「調」を表示し、「調」にタッチして採用します。

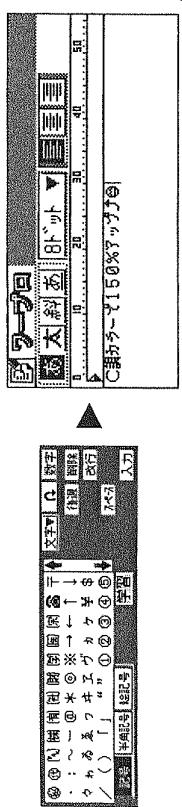
□ ローマ字入力について「機能説明」196ページをご覧ください。

**B** 記号・絵記号を入力する  
**C** 入力したい文字に合わせて、入力ボードを選択します。

## 記号・絵記号を入力する

### 記号入力ボード

記号入力ボードを使って記号「%」と絵記号「♪」を入力します。



□ 記号とは  
最近選んだ記号が、新しい順に表示されます。よく使う記号が選べやすくなります。

1 入力ボード上の[記号]にタッチして、記号入力ボードを表示します。



□ 記号が反転表示されないときは  
記号にタッチして反転させます。

2 記号が選ばれ反転表示の[記号]になっていることを確認かめ、[記号]に2回タッチして「%」を表示させます。



□ 記号の動きは  
直前の文字入力ボードに切り替えます。

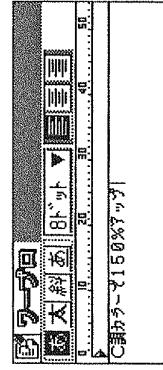
3 %にタッチして、「%」を入力します。

□ 記号入力ボードに切り替えます。

4 %にタッチして、タイプライターボードを表示します。

□ 「あつぶ」を入力し、[変換]にタッチして「アップ」を入力します。

5 続けて[採用]にタッチして採用します。



コラム よく使う常用語を入力する

6 [記号]にタッチし、記号入力ボードを表示します。

7 [絵記号]にタッチし、[記号]に2回タッチして「♪」と[記号]を表示します。



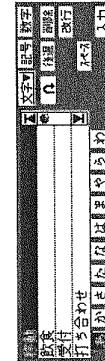
8 「♪」と[記号]にタッチして、「♪」を入力します。

9 ここでは、入力した内容を登録しないので、[中止]にタッチします。  
登録するときは、[中止]の代わりに[登録]にタッチします。このあと、表示される情報ファイルの選択画面で「一時保管」ファイルにタッチして登録します（☞117ページ）。

□ ここで、いろいろな入力がボードを使った入力を終わります。

### よく使う常用語を入力する

10 これで、いろいろな入力がボードを使った入力を終わります。



□ 50音読みのインデックスタッチすると、一覧が変わるので、インターネットでよく使われる「http://」や「.co.jp/」などの文字が登録されています。

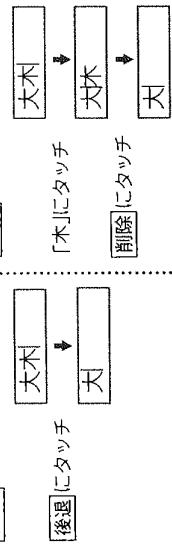
## コラム 入力中の文字を修正するには

入力行に入力された文字の修正には、次の方法があります。

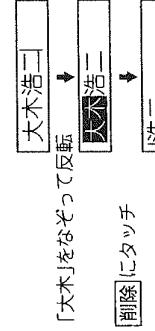
### ●削除する……[後退]、[削除]

例 「大木」の「木」を削除するとき

[後退]を使う 削除を使う



例 「大木浩二」の「大木」を削除するとき

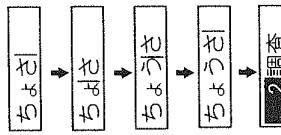


### ■文字の挿入は

挿入したい位置にカーソルを移動し、文字を入力します。

### ●文字を挿入する

例 「ちよさ」を「ちようさ」にして「調査」に変換するとき



カーソルの移動は  
ある文字に直接タッチするか、[←]にタッチして左右に移動します。

コラム 漢字変換中に修正するには  
読みに戻し、読みの修正や文節区切りの変更をして漢字に変換します。

## コラム 漢字変換中に修正するには

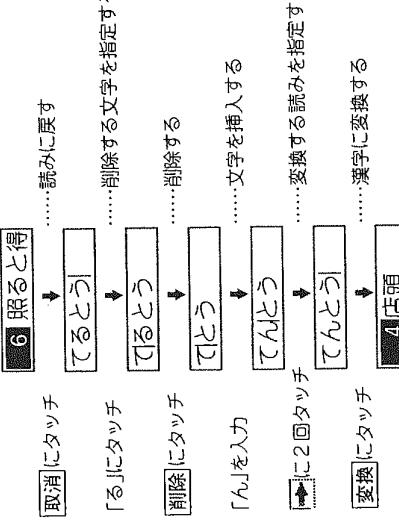
漢字変換中に修正するには、次の方法があります。

### ●変換を取り消して読みに戻す

例 「「店頭」と入力するとこれを、「てるとう」と入力して変換したとき

「てるとう」を入力し、[変換]にタッチ

■変換する文節を区切るには  
カーソルの前(左)までの読みを漢字に変換します。文節区切りをまちがえたまま変換したときは、[削除]にタップして読みに戻したあと、[←]にタッチしてカーソルを左右に移動して変換する読みを指定します。



■読みを一度に変換できないときは  
読みに戻し、文節を区切って変換し探用します。このあと残りの読みが表示されたら、さらに文節を区切り変換します。



# Explore Litigation Insights



Docket Alarm provides insights to develop a more informed litigation strategy and the peace of mind of knowing you're on top of things.

## Real-Time Litigation Alerts



Keep your litigation team up-to-date with **real-time alerts** and advanced team management tools built for the enterprise, all while greatly reducing PACER spend.

Our comprehensive service means we can handle Federal, State, and Administrative courts across the country.

## Advanced Docket Research



With over 230 million records, Docket Alarm's cloud-native docket research platform finds what other services can't. Coverage includes Federal, State, plus PTAB, TTAB, ITC and NLRB decisions, all in one place.

Identify arguments that have been successful in the past with full text, pinpoint searching. Link to case law cited within any court document via Fastcase.

## Analytics At Your Fingertips



Learn what happened the last time a particular judge, opposing counsel or company faced cases similar to yours.

Advanced out-of-the-box PTAB and TTAB analytics are always at your fingertips.

### API

Docket Alarm offers a powerful API (application programming interface) to developers that want to integrate case filings into their apps.

### LAW FIRMS

Build custom dashboards for your attorneys and clients with live data direct from the court.

Automate many repetitive legal tasks like conflict checks, document management, and marketing.

### FINANCIAL INSTITUTIONS

Litigation and bankruptcy checks for companies and debtors.

### E-DISCOVERY AND LEGAL VENDORS

Sync your system to PACER to automate legal marketing.